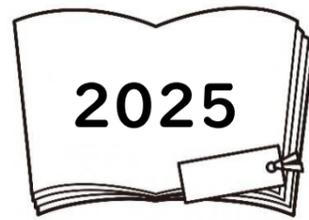


としょかん
へきなんの図書館がすすめる
なつやす ほん
夏休みの本

ようじむ
(幼児向き)



としょかん ほんかん ぶんかん
図書館 (本館・分館) におすすめの本のコーナーが作ってあります。ぜひ、ご覧ください。
かしだしちゆう よやく
貸出中の本は予約ができます。(借りられるようになったら連絡します。)

『とんことり』

筒井 頼子/さく 林 明子/え
福音館書店 (Eハ・ト)

ひっこしてきた家の玄関の方から音がしたので、かなえが行ってみるとスマレの花が落ちていました。次の日にはタンポポの花が…。いったい誰がくれるのかしら。



『こぎつねキッコ』

松野 正子/文 梶山 俊夫/絵 童心社 (Eカ・コ)

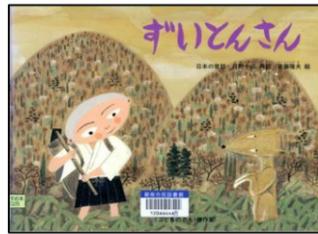
幼稚園のうら山に住むこぎつねのキッコ。子どもたちがいない夏休みに幼稚園に行くようになりました。ブランコやオルガンを鳴らして遊んでいるうちに、夏休みの終わりの日がやってきました。キッコは…。



『ずいとんさん』

日野 十成/再話 斎藤 隆夫/絵
福音館書店 (Eズ)

和尚さんから仏さまにお経をあげるように言われた小僧のずいとんさん。本堂でお経をあげていると「ずーいとん ずーいとん」と奥から呼ぶ声がかかります。



『ぞろりぞろりとやさいがね』

ひろかわ さえこ/作 偕成社 (Eヒ・ゾ)

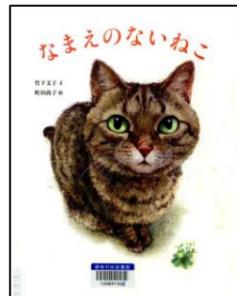
夜中の台所から、くさった野菜たちがぞろりぞろりと出ていきます。あちらこちらの家から集まった野菜たちは、こんな形にした人間たちにしかえし返しをしようと話しあいを始めます。



『なまえのないねこ』

竹下 文子/文 町田 尚子/絵
小峰書店 (Eマ・ナ)

どうしてぼくには名前がないのかな。名前がほしいな。お寺のねこのじゅげむに「自分でつけば」と言われたねこは、自分の名前をさがして歩きまわります。



『とべ!ちいさいプロペラき』

小風 さち/さく 山本 忠敬/え
福音館書店 (Eヤ・ト)

まだ空を飛んだことがない小さなプロペラ機。格納庫で大きなジェット機といっしょになりました。プロペラ機が小さな自分はずかしく思っていると、ジェット機が話しかけてきました。



『マーシャとくま』

E・ラチョフ/え M・プラトフ/さいわ
福音館書店 (Eラ・マ)

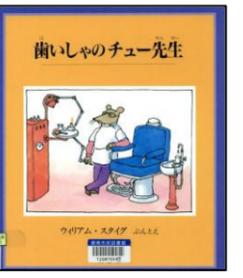
森で迷子になったマーシャはクマにつかまってしまいます。マーシャはクマから逃げようとかんがえて、いいことを思いつきました。



『歯いしやのチュー先生』

ウィリアム・スタイグ/ぶんとえ 評論社 (Eス・ハ)

チュー先生はねずみの歯医者さん。とても上手なので、いろいろな動物がむし歯をおしにきます。ある日、むし歯をなおしてほしいとキツネがやってきました。



『おまたせクッキー』

パット・ハッチンス/さく 偕成社 (Eハ・オ)

ママが焼いてくれたクッキーを食べようとしたら玄関のチャイムがピーンポーン。友だちといっしょに食べようとしたら、またまたチャイムが…。



『みらいのえんそく』

ジョン・ヘア/作 あすなろ書房 (Eへ・ミ)

遠足で行った月に置いてけぼりにされたぼく。お絵かきしながら待っていたら宇宙人がやってきて、落書きをはじめちゃった!



『やさいのはな』

斎藤 光一/指導・絵 フレーベル館 (Eサ・ヤ)

むらさき、白、黄色。野菜もいろいろな色の花をさかせます。あなたの好きな野菜は何色の花をさかせるのでしょうか。



『まっくらあそびしようよ!』

はた こうしろう/作 ほるぷ出版 (Eハ・マ)

おばあちゃんの家のやねうら部屋は電気を消すとまっくら。こわくて眠れなかったら、お兄ちゃんが「まっくらあそびをしよう」と言って…。「まっくらあそび」ってなに?



絵が主役の「絵本」から、字の多い「物語」の世界への橋渡しに…。

「幼年童話の読み聞かせ」を楽しんでみませんか。

『ふたりはともだち』

アーノルド・ローベル/作 文化出版局 (Eロ・フ)

「5月になったら起きる」と言ってまた眠ってしまったがまくん。かえるくんは、いいことを思いつきました。かえるくんとがまくんのお話5つ入っています。シリーズもあります。



『うさぎのぱんとぶたのぱん』

小沢 正/作 小峰書店 (913オ・ウ)

こぶたのころすけが「うさぎぱん」を食べたら、うさぎになっちゃった! こうさぎが「にんげんぱん」を食べて仲間を助けるお話も入っています。



1日1章ずつ
よむのも
いいにやご♪